

図1 鶴見岳・加藍岳 加藍岳の警戒が必要な範囲

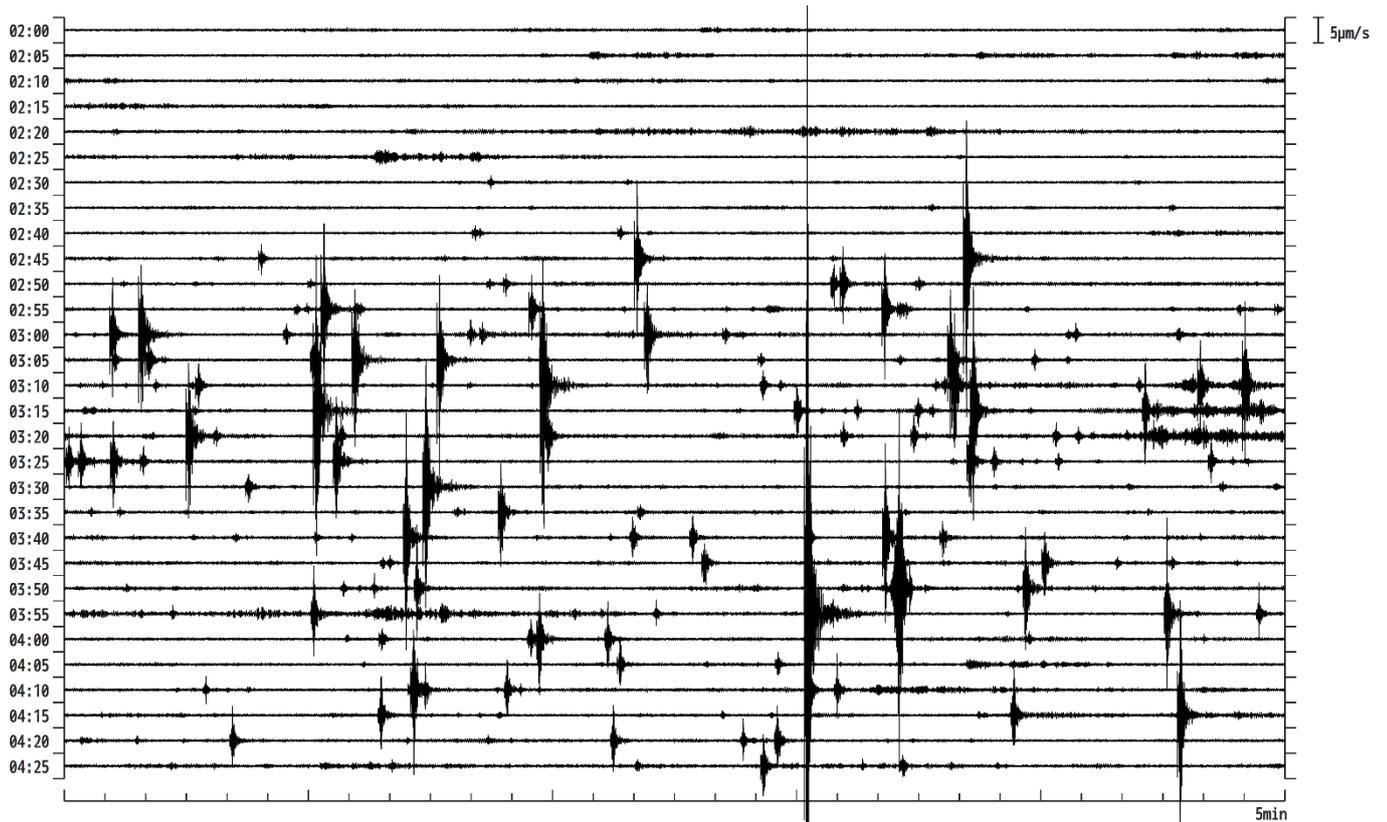


図2 鶴見岳・伽藍岳 火山性地震の発生状況（湯山観測点、7月8日02時00分～04時30分）

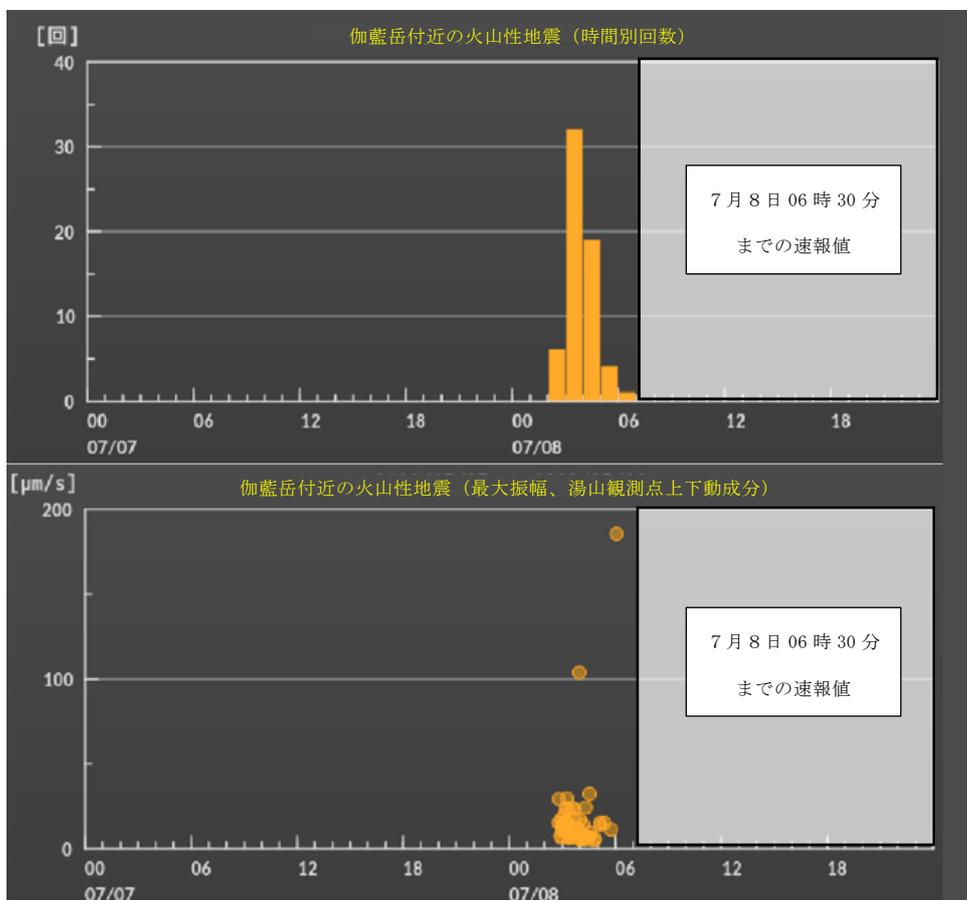


図3 鶴見岳・伽藍岳 伽藍岳付近の火山性地震の時間別回数、最大振幅（湯山観測点、上下動成分）
- 2（7月7日00時00分～8日06時30分（速報値））

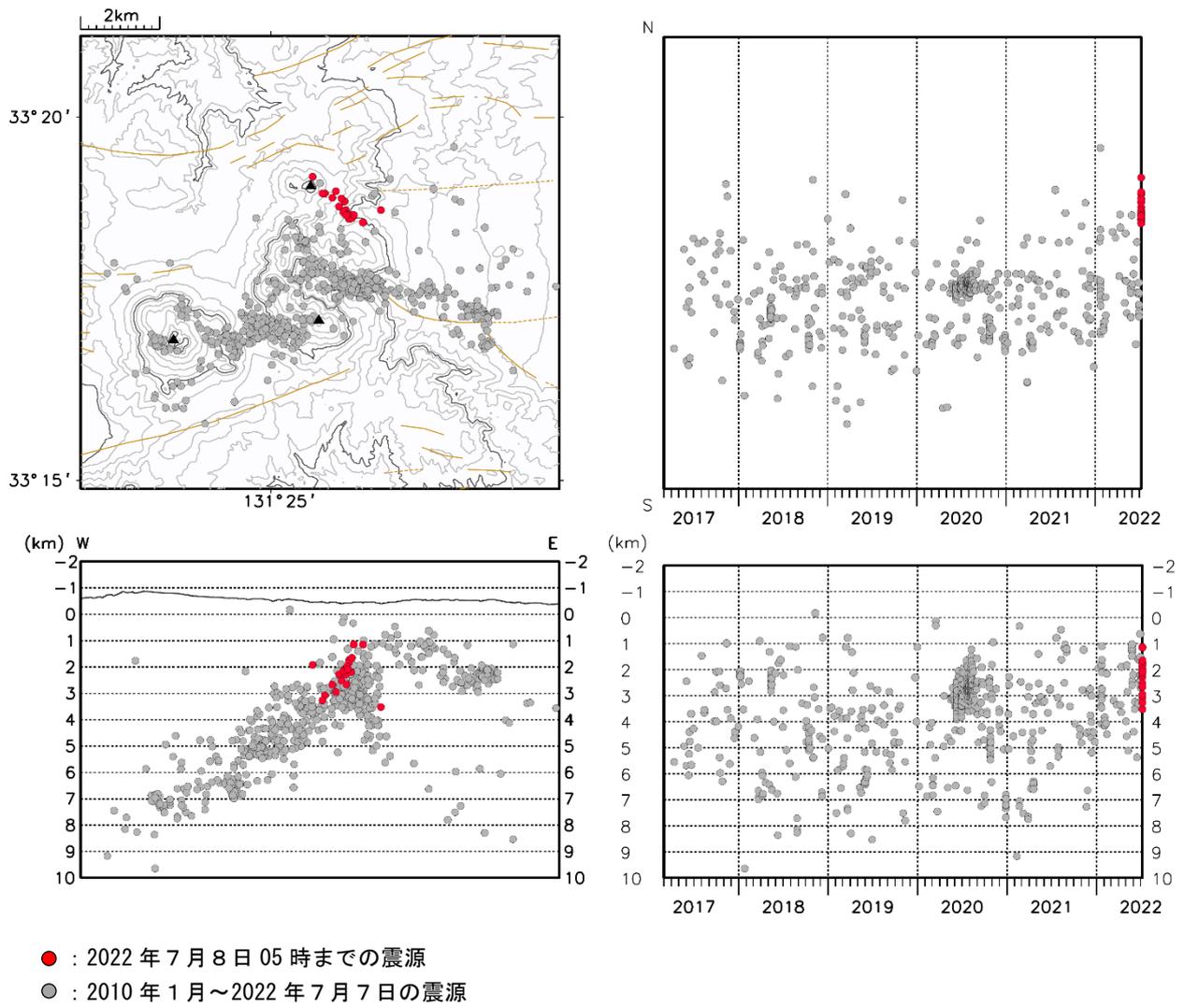


図4 鶴見岳・伽藍岳 震源分布図 (2010年1月～2022年7月8日05時 (速報値))

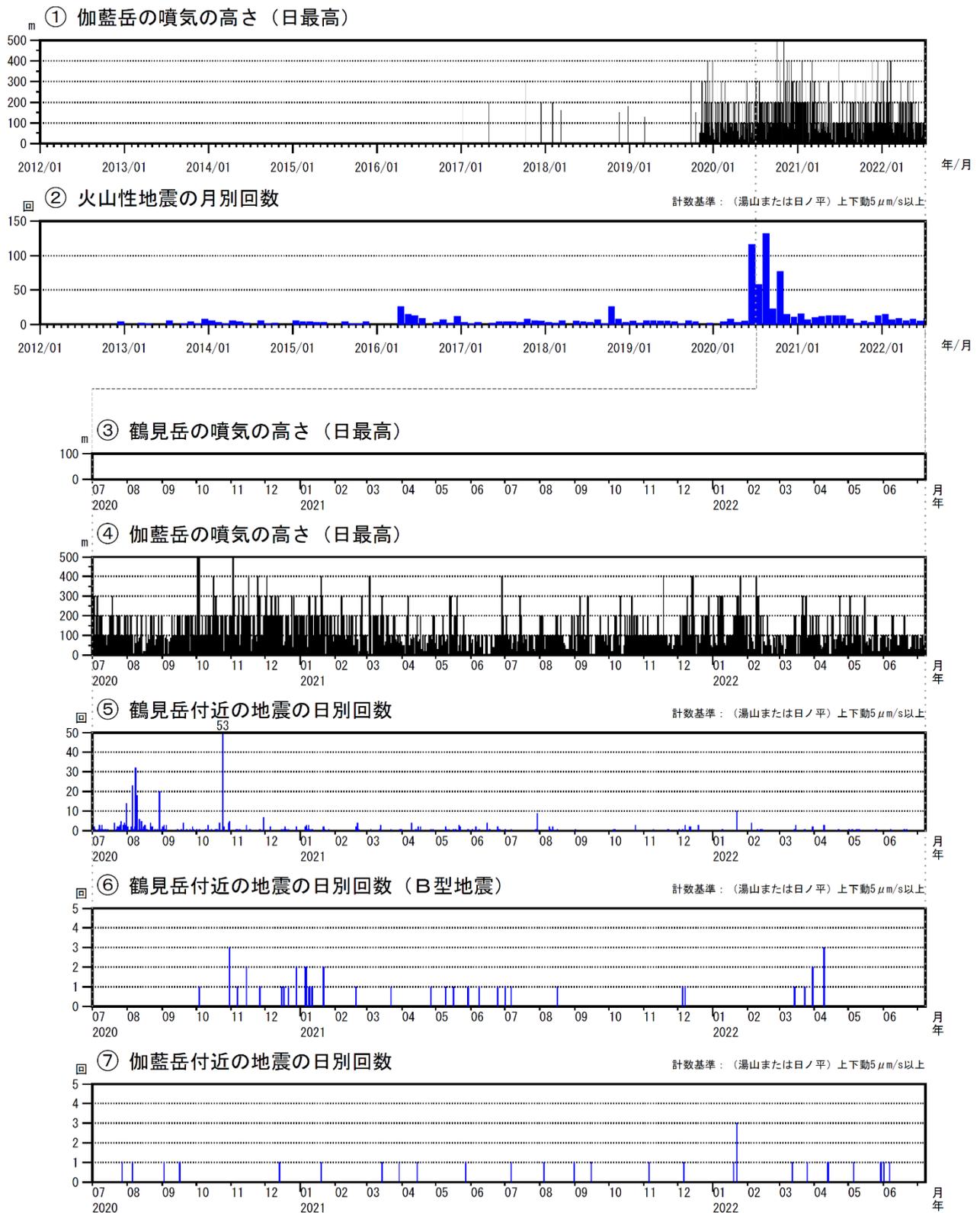


図5 鶴見岳・伽藍岳 火山活動経過図 (2012年1月～2022年7月7日)

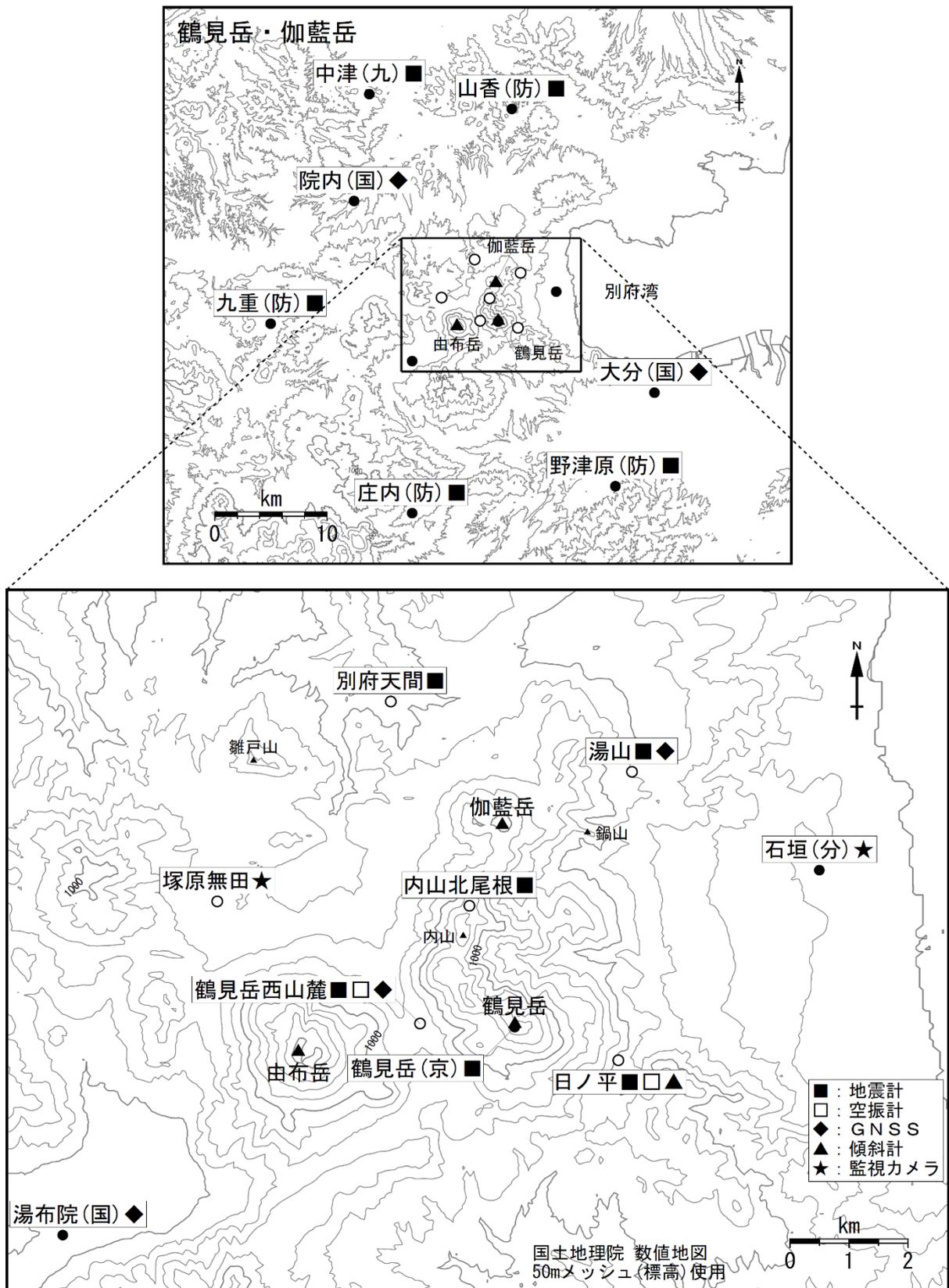


図6 鶴見岳・伽藍岳 観測点配置図

小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国): 国土地理院、(京): 京都大学、(九): 九州大学、(防): 防災科学技術研究所、(分): 大分県